



かの有名なアントチェアを彫刻的に
デフォルメしたようなアルネ・ヤコブセンの椅子。
フリッツ・ハンセン社、1970年。1,250ドル。



ハンス・ウェグナーのカウホーン
(牛の角)チェア。オリジナル・
フィニッシュのレアもの。4,500ドル。



現在もノール社から発売されている
ワレン・プラットナー作のサイドテーブル。
ノール社、1960年代。950ドル。
チールワイヤーと天板の組み合わせが美しい。



シャルロット・ペリアン作の
マホガニー製ストウール。
フランス製。1949年。1,650ドル



エヴァ・ズィーゼル作の
デザイナーウエア・セット。
レドウイング社。5,500ドル



Soho & Tribeca

[ソーホー&トライベッカ地区]

さらにじっくりと見て探せば、
数々の宝物に巡り合える。また、
置かれている椅子やテーブルに、
オリジナル・フィニッシュのヴィ
ンテージ家具が多いことも、特筆
に値するだろう。

レジ脇の壁に設置されているガ
ラスケースの中には、彫刻ガラス
器に混じって、他店ではあまり見
かけることのない飾り皿や
まるやかなフォルムのレッドウイ
ング社の陶製デザイナーセットが陳
列されている。

もし、探しているイメージの
ものが見つからなかったら、ラリー
に訊ねてみるという。ディスプレイ
のバランスを崩さないために、
店頭に出しきれないお宝が、地下
にこっそりと眠っている。

繊細で美しい
ディスプレイ、
選び抜かれた逸品は
垂涎の的

LIN WEINBERG

リン・ワインバーグ
84 Wooster Street New York, NY 10012
TEL.212・219・3022
●12時～19時(月～土)12時～18時(日)



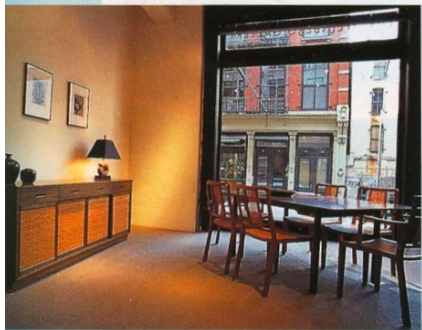
イサム・ノグチのラダー(蛇)テーブル。
ハーマン・ミラー社。1949年。
オリジナル・コンディションで16,000ドル。



ドイツ製のテーブルランプ。
1935年。2,600ドル。



色鮮やかなデンマーク製の花瓶。
1960年。85～275ドル。



(右上)手前のラウンジチェアは、現在ニューヨークで人気のある
ジョージ・オカシマの作品。民芸モダンともいえるべき心休まるデザイン。
著名デザイナーの中でも特に力を入れているのがエドワード・ウォームレイ。
ウィンドウ・ディスプレイもウォームレイのダイニングセット。

1961年7月号のブレイボーイ誌で、イームズ、ネルソン、サリネン、リゾムと並んで時代を代表するモダニストと取り上げられながら、その後埋もれていたエドワード・ウォームレイ。彼を再評価し、現在のデザインシーンに送り込んだラリー・ワインバーグが、現在もっともその作品が望まれているフアンチャー・デザイナーの軌跡をたどる。

1970年代以降は忘れられた存在、9770年の回顧展で再評価

1997年2月に共同経営するギャラリー「リン・ワインバーグ」でエドワード・ウォームレイのエキジビションを開くまで、彼の名前はほとんど忘れられていた。そもそもそのきっかけは、1995



年にウォームレイがこの世を去り、あとに残された家具のコレクションがコネチカットのオークションに出たことだ。ウォームレイは30年代から50年代を通じてアメリカン・フアンチャーのクオリティを一番に向上させたダンバー社のデザイナーを一人で引き受けていた。彼は国内だけでなくヨーロッパでも数々の賞を獲得し、ニューヨーク近代美術館は作品を永久コレクションに加えているほどのデ

どうをみていた。死んだときにはほとんど無一文で、自分がデザインした膨大な家具のコレクションだけが残されていた。ウォームレイのフアンチャーは、機能的でプロポーションが優れていて、どんなインテリアにも合う。それから何よりもクオリティがいいのが特徴だ。ダンバー社の家具は工場生産だけれども、腕のいいスイス移民の職人によっていいものに作られていた。引き出しの内側にも

良質の木材が使われたし、椅子のシートは生地も高級品、曲げ木合板はなんと21層も重ねられていた。ちなみにアールトの合板は3から5層、イームズのは5から6層だ。ウォームレイの完全主義がデザインにも製造過程にも、ことごとく行き渡っていたんだ。

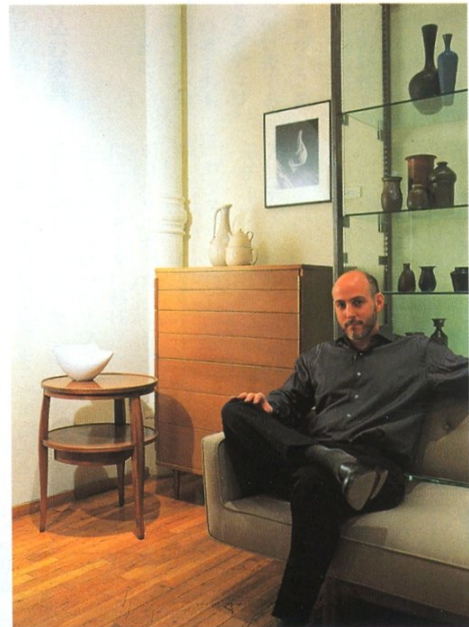
膨大な数のデザインを提供し、消費者のニーズに応える

1944年にウォームレイはダンバー社の専属から離れてニューヨークにスタジオを開いた。ダンバー社の仕事は続行したけれど、ドレクセル社で安価なラインを始めたり、インテリアデザインにも手を広げた。67年に引退してコネチカットに引きこもるまでは、マンハッタンにあるデュープレックスを本拠に活動していた。40年代後半から50年代がいちばんクリエイティブな仕事をしていった。リッスン・トゥ・ミー、カウチ、ロング・ジョン、テーブル、ミスター&ミセス、チェアなどが有名だ。

ウォームレイはダンバー社のために多いときには年間100点のデザインを提供していた。膨大な種類の中から、消費者がそのニーズに応じて選べるように、

Larry Weinberg on Wormley

ラリー・ワインバーグがウォームレイの魅力を語る



(リン・ワインバーグ)の共同経営者で、ウォームレイ発掘に貢献したラリー・ワインバーグ。アンティーク業界にアカデミズムを持ち込んだ新しいタイプの若きディーラーだ。彼が座るソファは長さ7フィート半(約2m30cm)のロングソファ。53年作。12,500ドル。左横の7段引き出しのツールチェストはマホガニー製。真鍮製の脚。52年作。6,500ドル。左端のオケイジョナル・テーブルはウォールナットとマホガニー製。58年作。2,400ドル。

Edward Wormley

ワード・ウォームレイ(1907-1995)

能的で優れたプロポーション、工場生産の質を向上させた完全主義者。

アヴァンギャルド・モダニズムとはまったく違う姿勢だった。『トラディショナル(伝統的)過ぎる』という批判もあったが、ウォームレイは業界や他のデザイナーのためにデザインしていたのではなく、現実の人々のために、本物のフアンチャーを作っていたんだ。「モダニズムは生き方の表現であり、すべての人に



ディングドア付きキャビネット。写真のツールチェストと同シリーズのもの。引き手が両側に設けられているのが特徴。ルナット製。真鍮製の脚。52年作。4,800ドル。

上の写真3点：61年頃。マンハッタン東52丁目にあったウォームレイのアパート。引退する67年まで、ここに住んで制作に動いた。下：インディアナ州のダンバー社で制作中の代表作である「リッスン・トゥ・ミー」カウチ。もともと製造数が少なかったため、現存数は100台以下と貴重なアイテム。

スライディングドア付きサイドボード。
ケイニング（編んだ籐）加工の戸。
マホガニー製。55年作。9,200ドル。
左側の椅子。脚はマホガニー製。
ブラスの脚キャップ付き。55年作。1,600ドル。
手前のオケイジョナル・テーブル。
ティファニーのタイルがトップに
組み込まれている。ウォールナット製。
ブラスの脚キャップ付き。現存するのは約30台。
きわめてレア。56年作。10,500ドル。

"modern ... is
an expression of attitudes
toward living and
cannot be the same for everyone"

モダニズムは生き方の表現であり、
すべての人にとって同じものではない
—エドワード・ウォームレイ

